

## 化学療法計画書

<b>治療法名</b>		<b>オブジーボ+ヤーボイ</b>			
<b>コース数</b>		<b>コース目</b>			
<b>腫瘍種</b>		<b>悪性黒色腫</b>			
<b>患者名</b>				♂	年齢
<b>患者ID</b>		生年月日			
<b>部署</b>		主治医		科	Dr
<b>開始予定日</b>					
<b>治療内容</b>		Day	1 . . . . . 8 . . . . . 15 . . . . . 22		
		予定日	1/0		
<b>ヤーボイ</b>		3 mg/kg	↓		↓
<b>オブジーボ</b>		80 mg/body	↓		↓
<b>治療開始日</b>		<b>治療間隔</b>		3週毎	予定コース数
					<b>4回で終了</b>
<b>身長</b>	150	cm	<b>体重</b>	50	kg
		<b>BSA</b>		1.40 m2	
<b>eGFR</b>	27	ml/min	<b>eGFR/BSA</b>	24	ml/min

<b>投与開始基準</b>
・自己免疫疾患の合併または既往歴のある患者は慎重に投与
<b>延期基準</b>
・ <b>G2の有害事象</b>
<b>肺臓炎</b> ：ステロイド投与 <b>下痢・大腸炎</b> ：ステロイド投与 <b>肝障害</b> ：ステロイド投与 <b>甲状腺機能低下症</b> ：甲状腺ホルモンの治療 <b>甲状腺機能亢進症</b> ：非選択的β遮断薬など対処療法 <b>神経障害</b> ：ステロイド投与 <b>腎障害</b> ：ステロイド投与 <b>副腎機能障害</b> ：ステロイド投与 <b>下垂体機能障害</b> ：ステロイド投与 <b>I型糖尿病</b> ：インスリン補充療法考慮 <b>膵炎</b> ：ステロイド投与 <b>横紋筋融解症・筋炎</b> ：ステロイド考慮 <b>重症筋無力症</b> ：抗コリンエステラーゼ検討 <b>ステロイド投与</b> <b>脳炎・髄膜炎</b> ：ステロイド考慮 <b>心筋炎</b> ：ステロイド考慮
皮膚障害はG3で休薬
原則専門医に相談

G1に改善した場合は1か月以上かけてステロイド漸減日と見感染に注意

day1	
インラインフィルターを通す	
1) 生理食塩液 50ml	血管確保
↓	
2) 生理食塩液 50ml <b>オブジーボ 80mg</b>	30分
↓	
3) 生理食塩液 50ml	30分 (観察)
↓	
(ヤーボイ5mg/ml)	
4) 生理食塩液 100ml <b>ヤーボイ 150mg</b>	30分
↓	
ヤーボイの液量分+10mlを生食から	
↓	
抜き、ヤーボイ分を生食に追加	
↓	
総液量は90ml	
5) 生理食塩液 50ml	フラッシュ

インフュージョンリアクションに注意

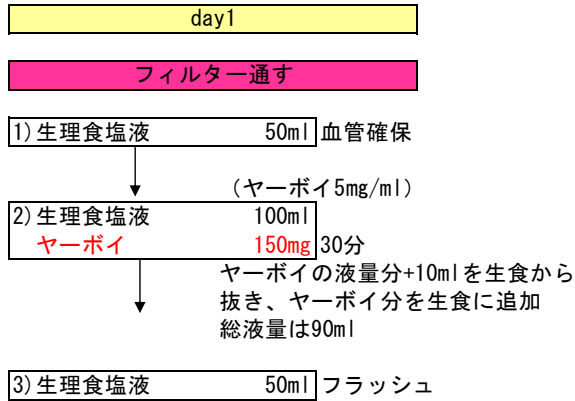
<b>Infusion reaction</b> (軽度～中等度) 悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談 (重篤)呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告
---

# 化学療法計画書

治療法名		ヤーボイ			
コース数			コース目		
腫瘍種		悪性黒色腫			
患者名			性別	年齢	
患者ID		生年月日			
部署			主治医	科	Dr
開始予定日					
治療内容		Day	1 . . . . .	8 . . . . .	15 . . . . .
		予定日	1/0		
ヤーボイ		3 mg/kg	↓		
治療開始日			治療間隔	3週毎	予定コース数
					4回で終了
身長	150	cm	体重	50	kg
eGFR	27	ml/min	eGFR/BSA	24	ml/min
			BSA	1.40	m2

投与開始基準
・自己免疫疾患の合併または既往歴のある患者は慎重に投与
延期基準
・G2の有害事象
肺臓炎：ステロイド投与
下痢・大腸炎：ステロイド投与
肝障害：ステロイド投与
甲状腺機能低下症：甲状腺ホルモンの治療
甲状腺機能亢進症：非選択的β遮断薬など対処療法
神経障害：ステロイド投与
腎障害：ステロイド投与
副腎機能障害：ステロイド投与
下垂体機能障害：ステロイド投与
I型糖尿病：インスリン補充療法考慮
膵炎：ステロイド投与
横紋筋融解症・筋炎：ステロイド考慮
重症筋無力症：抗コリンエステラーゼ検討
脳炎・髄膜炎：ステロイド投与
心筋炎：ステロイド考慮

皮膚障害はG3で休薬  
原則専門医に相談  
G1に改善した場合は1か月以上かけてステロイド漸減  
日和見感染に注意



インフュージョンリアクションに注意  
Infusion reaction  
(軽度～中等度)  
悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談  
(重篤)呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など  
ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告